

の頃、スーパーカーショーで見たラン  
に興奮したことは、現在でも鮮明に覚  
代会社コレツィオーネ 代表取締役)

自性、コンセプトの明確さ、そしてフェ  
響く気持ちよさは際立っている。キャ  
機器類は何もない。唯一、ヒーターと  
みだ。前後のFRPカウルを跳ね上げ  
がこの車が何者かを物語り、WRCで  
獲得した理由が見える。メーカーの威  
RCを戦った人たちの熱意と情熱とエ  
競技車のベース車両ならではの特典  
クラブジャパン前会長)

1976年、自身初出場だったWRCラリー・モンテカルロ。ロン  
ドンからニッサン・サニーでスタートしたコンセントレイション・ラ  
ンの終盤にイタリアに入り、山中ピネローロの町でのタイムコン  
ロールでローマ・スタートと合流。そこに現われたアリタリア・カ  
ラーのストラトス軍団を目の当たりにしたときのインパクトは忘れ  
られない。コンパクトでへんなアスペクトレシオで（前方だけだ  
け）視界が良さそうでかつ軽そうで、いかにも山の中を速く走るた  
めに創られたのであろう割り切りの良さに感心した。77年にも  
79年にも目撃したが、そのたびに胸がときめいたし、コース途中で  
抜かれた後ろ姿でも嬉しかった。（森川オサム／モータリング  
ジャーナリスト）

